蜂須賀茂韶の詩碑

藍 人

　眉山中腹の大滝山。滝の焼き餅の匂いを振り切り、草木でうっそうとした石の階段をえっちらおっちら登っていくと
「自有蒼々鑒赤誠　誠堂韶書」
と刻まれた茂韶自筆になる詩碑がある。誠堂は茂韶の号である。「自ら蒼々赤誠に鑒（かんが）みるあり」と読むのだろうか。呼吸を整えながらしばし隣に設置されている案内板を読む。
　なかなかの偉人であったらしいことがわかる。ここには書かれていないが、和歌、俳句を嗜み、歌集「うしほのおと」を編んでいる。